



tv asahi

2024年11月8日

マスター障害 原因と再発防止策について

7月に発生したマスター障害について、社内に設けたマスター障害検証会議において原因を特定し、再発防止策を実施しましたので、ご報告させていただきます。

7月23日（火）22時04分～23時59分に、地上波・BSともにマスター設備のネットワークに障害が発生し、地上波放送はCMの送出が不可能に、BS放送は番組・CMともに送出が不可能となりました。7月24日（水）早朝にも、短時間ですが同様の事象が発生しました。

今回の事象に至る経緯ですが、マスター設備内のネットワークスイッチの記憶装置で誤作動（以下「メモリーエラー」）が発生し、マスター設備内のネットワーク内に大量のデータが流れ、番組・CMを送出するサーバー3系統全てが制御不能となりました。

このメモリーエラーの原因については、設備メーカーから「中性子線の影響が原因であると判断」との報告がありました。中性子線は日常的に地表に降り注ぐ宇宙線が大気中の原子に衝突することにより発生し、中性子線が半導体に衝突すると機器が誤動作する場合があります。検証会議で大学や民間の研究所などの第三者の専門機関にヒアリングした結果、見解は概ね一致しており、今回の原因は「中性子線の衝突によりメモリーエラーが発生したと判断するのが妥当」との認識に至りました。

再発防止策として、同様の事象が発生した場合に通信を遮断するなど、二重三重の対策を施しました。また不測の事態に備え、更に予備系統を強化し放送の安定性向上を図りました。

視聴者やアドバイザーの皆様、ならびに（株）BS朝日、テレビ朝日系列各局の皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。今回の件に関して、事案の重大性に鑑み、技術局担当取締役が役員報酬10%、1ヶ月分を自主返上します。また、技術局長を譴責とする処分を行いました。

今後は今回の事象を大きな教訓とし、放送の安全な運行により一層努めて参ります。

以上

テレビ朝日広報部